

事務所 〒690-0874 松江市中原町167-1-3F TEL 21-6143 FAX 31-8985
HP: <http://www.matsue-rotary.jp> E-mail: office@matsue-rotary.jp

第 3328 回例会 (令和 3 年 9 月 1 日・水)

今週のプログラム

9月1日(水) 会員スピーチ

「欧州企業人の働き方、
日本社会と比較して」

かとうたかひろ
㈱日本政策投資銀行 松江事務所長 加藤隆宏氏

次週のプログラム

9月8日(水) 会員スピーチ

「中電プラントの紹介と
電気の安定供給について」

なかつかひろふみ
中電プラント(株)山陰営業所長 中司博文氏

●例会変更のお知らせ

月 日	クラブ名	受付場所
9月 2日(木)	松 江 東	ホテル一畑
9月21日(火)	松江しんじ湖	すいてんかく

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため状況により急遽変更(ビジター受付なし)もございますので事前に事務局へ確認願います。

2021年9月の予定

- 9月 1日(水) 定例理事会
9月 8日(水) 歴代会長会
例会終了後～ 1F ラマージュ
9月22日(水) 若手ロータリアン候補育成勉強会(YRCA)第3回
ホテル一畑 1F 「松」
12時30分～13時30分
- ※9月22日(水) 休会
※9月29日(水) 休会

●●●誕生月●●●

飯盛 勝会員 5日 小村 光寛会員 20日
堀江 貴会員 26日 大野 光徳会員 28日

●●●出席100%賞●●●

原田 光明会員 2年 景山 直観会員 2年

第3327回例会記録

令和 3 年 8 月 25 日 (水・晴れ)

会員数 64名
出席者数 38名
欠席者数 26名
出席率 69.10% (出席免除会員含む)
前々回補正 90.00%

■ビジター なし

■メーキャップ 伊原、錦織、山崎、和田(松江南)、天野(松江しんじ湖)
内田、河原(理事会)、飯盛、井上、内海、櫻井、辻、
服部(オンライン)

会務報告

小林会長

- ゲストスピーカー紹介
松江市長(名誉会員) うえさだあきひと 上定昭仁様



- 例会のあり方について説明

景山幹事

- 新入会員入会選挙について異議申し立てはありませんでしたので事後の手続きに入らせて頂きます。
- 今週、次週の例会について小林会長のお話の通り、短縮例会、食事は持ち帰り弁当とします。

9月8日以降につきましては9月1日の理事会で協議し、改めて皆様にお知らせします。
会員の皆様にはご理解を頂きますようお願い致します。

- 次週例会終了後、定例理事会開催。

委員会報告

- 親睦・出席委員会 谷口正親睦・出席委員長
出席報告

プログラム

「米国のコロナ禍に学ぶ
わが国地方のポテンシャル」
松江市長(名誉会員)
うえさだあきひと 上定昭仁氏



ニコニコ箱

29,000 円

小林、景山、川上、木村、後藤、佐藤、杉原、田中、永通、中村、錦織、西村、原田、森岡（上定市長のスピーチを楽しみにしています。）

今井、福田（上定市長を歓迎して。）

河原（上定市長の益々のご活躍をお祈りして。頑張ってください。）

信太（上定名誉会員のスピーチを歓迎して。）

谷口正（上定市長のご活躍をお喜び申し上げると共に本日のスピーチ楽しみです。）

後藤（8月23日、事務局において2020-21年度会計監査を終了しましたのでご報告します。）

ベストメッセージ賞：該当者なし

司会 木村俊一郎会場監督



上定市長を囲んで

ひとこと
随想

再び新しい発見を



やま おし ち
山 尾 義 己

7月に入会させていただきました山尾です。

宜しく願い致します。

松江に住むのは13年ぶりとなります。異動を命じられた時は、長年携わってきた報道制作の仕事から離れ、ほぼ未経験の業務にあたるということで少し不安になりましたが、また松江で生活できることに関しては期待さえ感じました。前回は6年間松江で勤務し、報道記者として県内各地を取材で回りました。「山陰」と一括りで呼ばれてはいるものの、地域によってさまざまな文化や習慣の違いがあると感じたことを覚えています。

雲南市掛合町のある家を訪れた時のこと、取材が一段落したところで「お茶をどうぞ。」とすすめられました。テーブルにつくと、そこには野菜の煮物や数々の漬物がテーブルいっぱいに並べられていました。まるで食事の時のような状態に「わざわざ用意していただいて。」と恐縮していると、これが普通だということです。私が育った鳥取市では見たことがない光景です。聞くと出雲地方では、お茶の時間はお菓子だけでなく、さまざまな食べ

物を並べて賑やかに過ごす習慣があるとのことでした。

実は同じような体験をこれより前、別の地方でしたことがありました。宮城県仙台市の妻の実家を初めて訪問した時のことです。その時は煮物まではありませんでしたが、お茶とともにこんもりと盛られた様々な種類の漬物が出されたのです。妻の両親を前にした緊張のなかでしたが、習慣の違いに驚いたことを覚えています。田舎の方に行けば、もっと多くの食べ物を前にしてお茶の時間が繰り上げられるということでした。

遠く離れた「東北」と「出雲」で、同じようなお茶の文化が受け継がれていることは非常に興味深いことですが、そこで生活したり、住民と触れ合ったりしないと分からなかったことです。

松江での2度目の生活のなかで、今度はプライベートでさまざまな場所を訪れてみようと思っています。異なった文化に触れ、どれだけ新しい発見ができるのか楽しみです。

（放送事業）